

2020年11月18日

SUBARU AI開発拠点「SUBARU Lab」を渋谷に開設

SUBARUは、2020年12月、AI開発拠点「SUBARU Lab(スバルラボ)」を野村不動産株式会社(本社:東京都新宿区、代表取締役社長:宮嶋 誠一)が展開するクオリティ スモールオフィス「H'O(エイチワンオー)渋谷三丁目」内に開設します。

SUBARUは2030年に死亡交通事故ゼロを目指しており*1、その実現に向け、運転支援システム「アイサイト」にAIの判断能力を融合させることで、安全性をさらに向上させる研究開発を行っています。近年の再開発によりIT企業集積地として進化し続ける渋谷にオフィスを構えることで、AI開発に必要な人材のスムーズかつ確かな採用や、IT関連企業との連携などを可能とし、これまで以上にスピード感のある開発を目指します。

なお、「SUBARU Lab」はリモートワークとの併用を想定しながら、密の回避と従業員同士のコミュニケーションの質的向上を両立した設計とするなど、新型コロナウイルスの影響でオフィスの在り方が問われる中でも従業員が集中して働きやすい環境を構築しました。

*1: SUBARU乗車中の死亡事故およびSUBARUとの衝突による歩行者・自転車等の死亡事故をゼロに

<ご参考>

・「SUBARU Lab」で働く人材の採用は、以下のページで行っています。

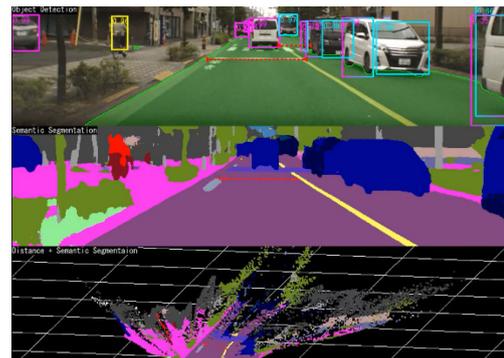
<https://recruiting-site.jp/s/subaru-lab/>

・野村不動産株式会社 クオリティ スモールオフィス H'O(エイチワンオー)公式 HP

<https://h1o-web.com/>



H'O 渋谷三丁目の共用ラウンジ(イメージ)



SUBARUのアイサイトとAIの融合(イメージ)